

第19章 腎移植

他学会による査読意見

日本臨床腎移植学会(石塚喜世伸:東京女子医科大学腎臓小児科)

1. CQ2【解説】において、エリスロポエチン抵抗性(貧血)についての言及がありますが、他の項目でCKD-MBDの項目もありますし、EPO抵抗性貧血の原因として、2nd HPT、葉酸やカルニチンの欠乏、免疫抑制剤やACE-I、ARBなどの薬剤性や拒絶反応、慢性感染症などの言及は不要でしょうか?確かにエビデンスに基づいた・・・となりますと必ずしも言及する必要はないかとは思いました。

回答: ご指摘のように、エビデンス中心の記載で考え、記載しませんでした。

2. 誤字の指摘を1件させていただきますと、参考文献一覧のCQ2、No.3のDjamali A et al.の論文の結果の下から2行目で、「新顕官」⇒「心血管」だと思います。

回答: 訂正させていただきました。

日本薬物療法学会(理事長・平田純生:熊本大学薬学部臨床薬理学分野)

1. P1 PKTが初発から略語となっている(先行的腎移植(preemptive kidney transplantation : PKT))

回答: Spell outしました。

2. P2L12 またCKD早期から移植施設との連携が欠かせない。余裕を持った腎移植施設との連携が必要である。

回答: ご指摘の通りに訂正させていただきました。

3. P5~CKD-MBDで腎移植後は移植待機患者と比べて、骨折率が上がることを示されていることに関して、骨折に関して移植後因子になりますが、ステロイド服用については触れなくてもよいでしょうか。

回答：本ガイドラインは移植前の保存期あるいは透析期CKDのガイドラインであるため、移植後因子は敢えて触れていません。

4. 5 ページ 6 行目 遷移性服甲状腺 → 遷移性副甲状腺

回答：ご指摘の通りに訂正させていただきました。

5. P6の感染症のところ免疫抑制剤と使用していますが、最近では、すべての薬剤種において、「剤」ではなく、「薬」を使用することが多くなっていますので免疫抑制薬の方が、適切かと思えます。抗ウイルス剤も→薬

回答：ご指摘の通りに訂正させていただきました。

6. P6の下から8行目のリバビリン→リバビリン投与

回答：ご指摘の通りに訂正させていただきました。

7. P6のIFNの初回はインターフェロン（INF）

回答：ご指摘の通りに訂正させていただきました。

8. P6 下から2潜在性結核感感染

回答：ご指摘の通りに訂正させていただきました。

9. P11 腎提供後妊娠の項目で、「移植後の妊娠等」の文言はレシピレント側の勘違いされますので、腎提供後妊娠に統一された方がいいと思えます。

回答：ご指摘の通りに訂正させていただきました。

指定査読者の査読意見

酒井謙：東邦大学医療センター大森病院腎センター

樋口誠：信州大学医学部附属病院血液浄化療法部・腎臓内科

回答：

指摘されている部分が多く、PDF の形で頂いておりましたため、以下のように対応させて頂きました。

文言に関するご指摘に関しましては、ご指摘の通りにすべて訂正させて頂いております。

又、内容の変更に関するご指摘については、全て訂正した箇所にコメントを添付させて頂きました（ご指摘があっても訂正していない場合にもコメントを付記させて頂いております）。

パブリックコメント（日本腎臓学会会員）

ご指摘を頂いておりません。